

実施計画事業管理表に対する総合計画審議会意見等について(案)
【進行管理部会で意見聴取をしたもの】

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
秘書広報課	情報発信充実事業	第1の目標である広報ずしの年間発行ページは、目標の320ページにたいして304ページであり、わずかに目標に達していない。しかし、第2の目標であるホームページへのアクセス数が十分に目標を上回ったことを考慮に入れれば、総合的には達成状況は「目標が達成できた。」でよいと思う。	目標を設定した翌年度である平成20年度から平成26年度まで、別冊特集号分の予算を削減したことにより、年間の発行ページ数は目標に達していない状況が続いていました。他方で、各年度の進捗状況評価(自己評価)においては、各年度の予算で認められた分のページ数を作成できたことから「B 予定どおり進捗」としていましたが、平成23年度から平成26年度までを評価するに当たっては、当初設定したページ数の維持ができなかったことから、「目標が達成できなかった。」という自己評価としました。	7

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
企画課	市民自治システム構築事業	5小学校区で制度を設立。運用開始の計画中、2015年4月までにとにかく沼間・小坪で設立されたのは良かった。当初計画では設立小学校区の数まで規定していなかったの、まずまずとは言っても「5分の2」では”中位”というところか。加えて設立を終えたばかりで運用とはまだ言えず、評価「目標が達成できた。」は甘すぎないか。	25年度に地域自治システムの構築は完了しており、26年度には全小学校区の地域担当職員の任命・研修のほか、全小学校区の地域住民へ働きかけた結果、1小学校区(沼間)での住民自治協議会設立、2小学校区(小坪、池子)での準備会設立、2小学校区(久木、逗子)での市と地域住民との継続的な会合など、市としてのシステム運用がはじまっていると考えます。また、総合計画についても、市民参加・市民協働により26年度に策定され、総合計画・基幹計画・個別計画の一体的な推進や、市民の横断的なネットワーク会議などの市民によるガバナンスの仕組みを構築し、27年度から開始できたことから、「運用がはじまっている」という状態と考え、目標が達成できたと判断しました。	11
基地対策課	親善交流事業	地域連絡協議会を必要がなければ開催しなくてよくなったことと、目標の「交流550件」とは独立事象である。交流は373件しかなかったのだから、評価は「その他(事業中止など)」ではなく「目標が達成できなかった。」とすべきである。	ご指摘を踏まえ、カルテの<評価の区分>を「目標が達成できなかった。」に修正いたしました。	15
基地対策課	返還促進事業	共同使用が合意されたが、まだ市民が利用できるようになっていないので、目標が達成できていないのではないのか。	平成26年11月30日に共同使用が開始。平成27年2月1日に池子の森自然公園が開園し、運動施設の利用が開始されています。	23

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
防災課	防災行政無線事業	最終年の前年までの遅れを取り戻して達成したことは良かったが、“運用の適正維持管理した”という結果は、その内容が記されておらず本来ならば運用の回数やその成否などを明確にすることによって結果として記載されるべきことではなかろうか。この案件に限らず、“適正管理を維持”等の表現は判定者にとっては十分な説明にならない。	平成26年中における防災行政無線放送や訓練放送は33件あり、地域安心安全情報共有システムとあわせ迅速な情報伝達が行えていることから、適正に維持管理したと記しました。	31
防災課	自主防災組織育成事業	主な事業内容では5項目の目標を掲げているが、実施結果では2項目が書かれていない。特に、自主防災組織への加入促進についての記載が無いことは残念である。	各自主防災組織への活動助成として、火災(防災)予防教室及びお出かけ円卓フォーラムを実施しました。自主防災組織への加入促進については、広報によるPRのほか、各種訓練及び防災セミナーなどを通じて、防災意識の向上や共助の重要性について啓発し、加入促進を図りました。	39
防災課	災害ボランティア受入事業	目標は「受入体制が構築されている」ということなのだが、「活動拠点が整備された」ことや、避難所運営委員会との連携がより強化された」ことが、それを満たしているのか明確に説明して欲しい。	活動拠点が整備され、各避難所との連携が強化されたことによって、必要な場所へ必要なボランティアをコーディネートすることができるようになることが、受入体制の構築に繋がると考えます。	43
		目標に対して判断した理由がおかしい。2小学校地区でしかやっていないのに、「目標が達成できた」は誤りではないのか。そうでないのであれば、判断した理由にその旨記載すべきではないか。	災害ボランティアネットワークの会員が出席している避難所運営委員会は、久木と池子の2ヶ所であるが、他地区においても災害ボランティアの受入れは各地区避難所運営委員会で検討され、体制が整えられており、目標は達成できたと考えます。	
			5小学校地区全ての避難所運営委員会において、ボランティアの受入担当係が設置されており、ボランティアの受入体制が構築されております。	

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
生活安全課	自転車等駐車場整備事業	理由はともあれ、目標の「収容台数が3,500台」は達成できなかったのであるから、評価は「その他(事業中止など)」ではなく「目標が達成できなかった。」とすべきだと考える。	ご指摘を踏まえ、カルテの<評価の区分>を「目標が達成できなかった。」に修正いたしました。	47
生活安全課	人権推進事業	事業内容と実施結果とが漏れなく対応し、妥当である。なお、人権作文コンテストも本事業の啓発活動の一環と考えられるので、コンテスト参加者数も啓発講演会等の参加者に算入することが望ましいと考える。従って、コンテスト参加者数の記載が望ましい。	人権作文の参加(提出)者数を記載します。 73作品	55
市民協働課	ふれあい活動圏創成事業	総じて具体的な記述が少なく”ふれあい活動”そのものの内容説明すらないのは不親切というか不適當な管理票との印象を持つ。	用語の説明を、事業カルテの「事業概要」に記載いたします。	59
		本事業の目標は「活動センターの整備開始」と「ふれあい活動の展開」の2項目である。この内、前者は検討を行っている段階であり整備開始には至っていない。後者についてはモデル事業実施の段階である。従って「目標が達成できた。」とする自己評価はやや甘いのではないのか。	ふれあい活動とは、地域の誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざして、住民が力をあわせ、関係機関とも連携しながら進める住民自身による自主的な活動のこと。	
		目標達成状況が、「ネットワークづくりが進みつつある」となっているが、目標に対して書かれていない。分かりやすく書き直してほしい。	ふれあい活動センターとしてはすでにモデル的に2箇所を実施しており、設置条例の制定及び整備に向けた取り組みが始まっていると考えている。また、ふれあい活動は地域からのボトムアップにより活動が行われていくものであり、行政としては普及啓発により下支えをしていくことをもって目標に向かって進めていると考えている。	
		ご指摘を踏まえ、カルテの<目標達成状況>欄を修正いたしました。	前) ネットワークづくりが進みつつある。 後) ふれあい活動センターの整備が始まり、ふれあい活動を行うためのネットワークづくりが進んでいる。	

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
経済観光課	自然の回廊プロジェクト推進事業	平成25年の「主な事業内容」にある「全体計画の策定」ができたのかどうか記述がないので、記載してほしい。	平成25年7月に「逗子市自然の回廊プロジェクト」を策定した。	75
		平成 25年度に「自然の回廊ルートマップの作成」の記載があるが、同年度・翌年度の実施結果欄に対応する記載がないため、記載してほしい。	平成26年度に自然の回廊ガイドマップを作成した。	
		〈目標達成状況〉欄に、『計画期間中に、道標18基、説明板 20 基を設置』した旨の記載をしてほしい。	計画期間中に、道標18基、説明板 20 基を設置した。	
経済観光課	海水浴場開設事業	H26年は海水浴場の条例改正の影響による減少であり、4年間の総合評価は「目標が達成できなかった。」より「その他」など、別な評価が良いのではないだろうか。	事業中止をしたものではありませんので、目標値に照らし、評価するものと考えます。	83
障がい福祉課	要約筆記事業	3年間(2011~2013)派遣回数が低迷していたのが、一気に目標を超えた理由は何ですか？ 評価を踏まえての取り組みに定着を図ると書き続けても60回台で増加してないのに最終年だけオーバーした理由が、この年だけ臨時の派遣など特別な事が有っただけで、次年度はそれが期待できなければ、また減る事が明白。 4年間低迷定着の「未達」評価とすべきなので理由を明記してください。	要約筆記の派遣は申し込みがなければ派遣することができません。そのため、これまで、派遣事業の定着を図るために庁内への周知を継続して行いました。その結果、平成26年度は連続講座等への依頼があり回数が増えたため、今回の評価は達成と捉えました。 今後も定着の拡大を図ります。	95

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
環境管理課	地域公共交通充 実事業	目標の「路線が充実されている」に対して、成果が「充実に向けて検討を行った」という状況で、評価が「目標が達成できた。」というのは、おかしいのではないか。	<p>ミニバス路線の拡充については、市が主体的に行うものではないため、バス事業者との拡充に向けた、協議・調整がその主たる事業となることから、バス事業者から運行充実の結果を得たことをもって、目標達成としました。目標に定める「拡充」とは、新規路線の開通のみならず、運行本数の増便も含むものです。しかしながら、ご指摘を踏まえ、カルテの「目標達成状況」欄を修正いたしました。</p> <p>前) 地域の公共交通の充実に向けて検討を行った。 後) 路線が充実された。</p>	107
緑政課	いのちの森整備事 業	事業カルテにいのちの森についての説明を書いてもらいたい。	<p>用語の説明を、事業カルテの「事業概要」に記載いたします。</p> <p>いのちの森とは、住宅が増え、緑は消滅していく中で、市街地の緑を増やすことは重要である。その土地に適した木を植えて森を形成することで、延焼を防ぐもの。市民のいのちを守ることもつながる。</p>	123

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
資源循環課	歩行喫煙防止事業	<p>目標の「年12回実施されている」対して、「目標達成状況」には「延べ39回実施された」と記述されている。この状況で、評価が「目標が達成できた。」とはおかしいのではないか。「目標が達成できた。」と評価されるためには、平成26年度に12回実施されているか、延べであれば48回実施されていないかと思ふ。</p>	<p>実施場所や、時間帯を工夫するなどして実施し、事業の目標自体は達成できているものと評価しました。</p>	131
		<p>2014年の記入につき、実施回数及び配付数が例年なく少ないと思う。</p>		
		<p>目標の達成状況を延べで評価しているのがおかしい。通年で行われているのかがこの事業の目的であるのだから、通年で12回実施されている状況でなければ「目標が達成できた」とはならない。</p>	<p>1日(回)の実施で複数個所の実施、場所や時間帯を工夫したキャンペーンを実施したことで、事業の目標自体は達成できたと考えます。</p>	
資源循環課	最終処分場延命化事業	<p>なぜ30%の目標に対して22%で十分なのかの説明が分かりにくい。30年以上の延命化を図ることができたことで、22%でも十分なのだということが分かるように記述して欲しい。</p>	<p>最終処分場延命化事業の目標は、事業実施により30%程度の容量を確保することになっているが、結果22%程度の確保と目標を下回った。なお、30%の根拠は、処分場の圧密状況をテストピット一か所での試験結果から推定(概要把握)したものであるが、実際の転圧事業では、埋立て対象物、埋立て作業状況、地形(底部、深度等)の影響により、処分場内において圧密状況に大きな隔たりがあった。この容量確保により得られた延命期間により最終処分対策を図ることが出来、30年以上の延命化を図ることが出来た。</p>	135

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
資源循環課	植木剪定枝減量化・資源化事業	計画の主な事業内容「資源化施設整備に向けた事前調査・調整」に対応する実施結果の掲載がない。	実施欄の記述を「持ち込みによる剪定枝1,120tを、環境クリーンセンターで500t及び外部委託で620t資源化した。」「植木剪定枝の全量資源化に向けた施設整備については、これまでの作業状況等を踏まえ、現状の能力を超えた分については外部委託処理することとした」と修正し、その他の実績も計画期間の累計とします。	139
		目標には「植木剪定枝(持ち込み分)が1,226トン以上」とある。目標であることが明記されている「持ち込み分」が1,117トンにしかならないのに、「目標が達成できた。」との評価は納得できない。＜目標達成状況＞にある2,360トンという数字がどこから出てきたのかも説明したうえで、＜目標達成状況＞に「植木剪定枝の全量資源化ができた」と記載すべきではないか。	<p>持込全量が資源化されたことから目標達成されたと評価しました。量については推定であり、全量資源化することが目標となっています。また、施設整備については、実施状況を踏まえ計画変更することとしました。「目標達成状況」の2,360トンにつきましては、修正いたしました。</p> <p>前) 剪定枝総処理量2,360トン、粉砕機総貸出件数156件。 後) 剪定枝総処理量1,120トン、粉砕機総貸出件数156件。</p>	139
都市整備課	市営住宅整備事業	他部局による目標未達成以外は目標は達成しており、評価は目標達成でよいのではないか。	目標として数値を設定しているものについては、数値に満たない場合には達成できなかったとしています。	179

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
河川下水道課	処理場施設整備事業	平成23年度の所管回答に「事業カルテの記述方法については、検討する。」との記載があるが、誤解の原因となった進捗状況評価欄の「予定した工事・業務を実施した。」との記述は変わっていない。この文言を「年度計画は、予定どおり工事・業務を実施した。」と改めて欲しかった。平成 23～26 年度の<目標達成状況>を「計画期間内(平成23～26年度)に予定していた施設整備事業が完了した。」と改めてほしい。	ご指摘を踏まえ、カルテの<目標達成状況>欄を修正いたしました。その他今後の参考とさせていただきます。	195
			前) 予定していた施設整備事業が完了した。 後) 計画期間内(平成23～26年度)に予定していた施設整備事業が完了した。	
消防総務課	消防団詰所整備事業	H23年に全詰所に緊急伝達システムが設置完了(目標の一部達成)しているの、判断理由にその旨記載したほうが良いのではないだろうか。	ご指摘を踏まえ、カルテの<上記と判断した理由>欄を修正いたしました。 前) 消防団第6分団詰所の建替えが完了したため。 後) 平成23年度に全詰所に緊急情報システムを設置したため。 消防団第6分団詰所の建替えが完了したため。	203
消防総務課	緊急情報システムデジタル化整備事業	<目標達成状況>に「活動波については、1年目整備が完了。」とあるが、「1年目」ではなく、「平成24年xx月」と記述したほうが分かりやすい。	活動波は、平成26年度、平成27年度の2箇年工事であり、ご指摘を踏まえ、カルテの<上記と判断した理由>欄を修正いたしました。 前) 逗子市で使用する活動派については、1年目整備が完了。 後) 逗子市で使用する活動派については、平成26年度の工事が完了した。	207

事業担当課名	実施計画事業名	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料2) ページ
教育総務課	校庭芝生化整備 事業	昨年度も芝は定着していない旨書いたが、相変わらず「芝の定着化が図られ良好な状態」として「目標が達成できた。」と有るが、肝心の所の芝は何も残っていない。「目標が達成できなかった。」が適正だと思う。	久木小学校では、踏圧の多い中央部については、表面上は枯れているように見えるが根が残っている部分もあることから、これに補うように毎年補植している。	215